



JIJi PRESS
時事通信社

「日本企業にとって ベストなID統合製品」

株式会社 時事通信社では、Active Directory（以下、AD）とグループウェアの管理をADMS IDMで実現しています。ADMS IDMを導入した経緯と効果について、システム開発局 情報企画管理部 部長 藤本勝也氏に詳しくお話を伺いました。



社名：株式会社 時事通信社

本社：東京都中央区銀座 5-15-8

創業：1945年11月1日

従業員数：868人

セキュリティ強化のため新規にADを導入

-導入の背景について教えてください。

いくつかの個人情報流出の事件をうけ、2017年春にエンドポイントのセキュリティ強化のためADを導入し、同時に資産管理ソフトやセキュリティソフトの集中管理コンソールを導入しました。

また1年後にはグループウェアを全社で導入し、ADとグループウェアの2つのシステムのメンテナンスが必要になりました。今まではワークグループ環境で使用していたためID管理という概念がなかったのですが、ADとグループウェアのアカウント管理を辞令に合わせて行う必要が出てきました。

辞令は毎月発令されますが特に4月と7月が多く、7月の異動に間に合うようターゲットを絞って製品調査をしていました。

ADとグループウェア、2つのシステムを同時にメンテナンス

-製品決定の理由について教えてください。

ADの管理ツールは数多くありましたが、同時にグループウェアも管理できるシステムがなかなか見つかりませんでした。管理できたとしても何らかの工夫が必要で、それら単独では出来ないものが多数でした。

その中でADMS IDMという製品を知り、ADとグループウェアが同時に管理でき、かつ追加のハードウェアも必要なく導入できるだろうとの見通しもあったため導入に踏み切りました。

前日からの準備で、ミスがなくなり 余裕が増えた

-導入効果について教えてください。

今は発令日の6時に反映するよう設定しているのですが、当日にやらなければならない作業が全く無くなり、当日に余裕を持てるようになりました。

また、前日から設定しておけるので当日のミスが無くなったことも大きいです。今は2~3日前に設定して当日反映を行う、というルーチンで問題なく運用できています。

短い期間の中で、運用まで漕ぎ着けた スピード

-弊社構築支援サービスに関するご評価はいかがでしょう。

社内手続きの関係上4月末の発注にせざるを得ず、7月の辞令に合わせてグループウェアの反映の運用を始めることを目標に、2ヶ月という短い期間の中で作業を開始しました。正直不可能かもしれないと思い、代替案も考えていましたが、実質2ヶ月弱で稼働まで漕ぎ着けたスピードには驚きました。

また、本社が山梨にあるという地理的な問題も若干懸念していましたが、問い合わせに対するレスポンスも早く、その点についても満足しています。

これからもユーザーにマッチした製品 作りを期待

-今後の製品に関するご要望がありましたら教えてください。

現在クラウドのメールサービスを利用していますが、近年サービスが終了するため後継としてOffice365やG Suiteの導入を提案されています。ADMS IDMは両システムの連携に対応したとのことなので、導入した際にはさらに作業負担が減るのではないかと期待しています。

ADのユーザー管理は外国製の製品も多く存在しますが、われわれ日本企業にとっては少し足りないと感じる部分がありました。なおかつ、今回自社が導入したグループウェアは純日本製品のため、うまく連携できない場合もありました。ADMS IDMは他の製品と比べ、ユーザーサイドに立った製品であり、われわれ日本の企業にとってベストなID管理製品だと思っています。これからもユーザーにマッチした製品作りを期待しています。

その他導入事例や製品のご紹介はこちら

<https://adms.jins.co.jp/> または

ADMS

検索